

刊 行 日 十 三 月 七 行 日 十 三 月 七 日 刊 日 十 三 月 七 日

高原 (下) 島田忠夫

白濁や水溜りの木立が過ぎ 落葉松もなくなり、落葉の 耳近く聞いているうち、昨こつと現れた低い疎らな

高月旬抄 (四)

宿かれは水溜りの田家かな 甲板を素足で歩む夏の朝 軽々と朝霧を歩む素足哉

浅間の嶺の雲は幾分か離れ たら、それでも折々雨を持 ちて来て山道をたどる私

掛華微笑 修行、場所柄天 心配。所詮五風も人違ひではないかと存じ

一日一禪 海底龍牛脚月走 岩頭石虎抱兒眠 講 元禄名妓傳



除りの事に玉吉は 玉吉は 玉吉は 玉吉は 玉吉は 玉吉は

高久病院 打開は合理化あるのみです! 貨物自動車営業 矢吹莊司

木村外科 藤沼醫院 平陽女學校 多田井質店 運動具と服装!!!

